



少子高齢化と加西市の魅力について

8 番 松尾 太誠 議員 (泉小)

質問 市の魅力を全国に知ってもらうために、どのような取組を行っていますか。また、市議会ではどのようなことを話し合い、市に提案していますか。

答弁 SNS やイベント、ふるさと納税などを通じて情報発信を強化し、多くの人に「一度行ってみたい」「住んでみたい」と思ってもらえるように取組を行っています。市議会としても、「また帰ってきたい」「住み続けたい」と思える加西市を目指していきたいと考えています。



加西市で一番力を入れているまちづくりについて

9 番 中谷 朔久 議員 (北条小)

質問 加西市が今、一番力を入れているまちづくりは何ですか。また、その取組によって、10 年後どのようなまちを目指していますか。

答弁 「子育て応援 5 つの無料化」をはじめ、企業を誘致して働く場所を増やしたり、移住・定住を進めています。また、道路や公園などの生活環境を整え、安心して暮らせるまちづくりも進めています。10 年後には、誰もが「加西市に住んでよかった」と思えるまちにしていこうことを目指しています。



閉校する学校の活用について

10 番 大藤 ひらり 議員 (賀茂小)

質問 閉校した学校がレストランや宿泊施設などに生まれ変わっている地域もあると聞きます。加西市の閉校した学校を今後どのように活用していきますか。

答弁 市議会では、学校は地域の大切な財産だと考えています。そのため、子供たちが安全に学ぶことはもちろん、災害時の避難所としての役割や、閉校後も地域の役に立つ施設として活用できないかということを、市と一緒に検討しています。



富田小学校区の通学路における困りごとについて

11 番 羽馬 光咲 議員 (富田小)

質問 加西市では、通学路の危険な場所をどのように見つけて、安全対策を進めていますか。また、市議会では安全のためにどこに力を入れていますか。

答弁 学校、警察、PTA、市役所などが協力して通学路を点検しています。市議会では市民の皆さんから寄せられた声を市へ伝えることも大切な役割です。また、通学路の安全対策に必要な予算が十分確保されているか、対策がきちんと進んでいるかを確認し、必要があれば市へ改善を求めています。



高齢化社会と農業について

12 番 岡 彩葉 議員 (富田小)

質問 加西市では後継者がいない農地や耕作されなくなった田んぼや畑を増やさないため、「新規就農支援」以外にどのような取組を行っていますか。

答弁 加西市では新しく農業を始める人を応援する「新規就農支援」を行っていますが、それ以外にもいろいろな取組を進めています。例えば、農地を貸したい人と借りたい人をつなぐ仕組みを活用し、耕作されなくなった田んぼや畑を地域の担い手や法人が引き受けて、農地を守っています。



空き家対策について

13 番 前川 陽紀 議員 (九会小)

質問 加西市には空き家の改修費用や取り壊す費用を補助する制度がありますが、空き家をこれ以上増やさないために、何か良い方法はありますか。

答弁 加西市では「空家等対策計画」に基づいて対策を進めており、管理が不十分な空き家は、所有者へ適切な管理をお願いしています。さらに、「空き家バンク制度」を設け、空き家を売りたい・貸したい人と、住みたい人をつなぐ取組を行っています。また、家財道具の片付け費用への補助なども行っています。



新中学校の建設について

14 番 八島 帆乃果 議員 (泉小)

質問 令和 10 年 4 月に開校する加西中学校で、新校舎を建設するのはどうしてですか。また、どのような学校にしたいと考えていますか。

答弁 泉、加西、善防中学校は、既に建築後 50 年を経過していることから、新しい時代の学習環境を整えるために、新校舎を建設することになりました。また、新しい中学校は北条高校に隣接して整備され、中学生と高校生が集う「学園ゾーン」として、より良い教育環境を目指し建設が進められています。



これからの教育について

15 番 兵藤 心菜 議員 (泉小)

質問 加西市では、これからの教育で特に力を入れていきたいことは何ですか。また、少人数学級について、市議会ではどのように考えていますか。

答弁 子供一人ひとりが安心して学び、それぞれの力を伸ばせる教育がとても大切です。市議会では、学校施設の整備や ICT 教育などについて、市の予算や取組をしっかり話し合い、必要なことは市へ提案しています。また、国や県に対して教育環境の充実を求める意見を届けることもしています。